

25日 日南広渡川漁協アユ放流

25日

日南広渡川漁協アユ放流

日南広渡川漁協(戸田博組) 流れる広渡川、酒谷川の計7
合長)は4月20日、日南市内を カ所にアユの稚魚を放流し



た。濁水や新燃岳降灰で状況が良くない中での実施だけに、組合員は「無事に育つて」と願いを込めて川に放した。午前9時に北郷小中学校裏のえん堤前に組合員、市の水産担当者ら7人が集合。タンク車で放流場所を回り、バケツやホースで放流した。

日南市北郷町の広渡川に稚アユを放流する日南広渡川漁協の戸田組合長(左)

放流したのは、延岡市の養魚場から調達した体長5〜6センチの計300匹(約4万匹)。広渡川の水と土ふれあひ公園そばのえん堤付近では、ホースで勢いよく川に流すと稚魚が群れて川をさかのぼり、あちこちで跳びはねて銀鱗(ぎんりん)をひらめかせた。

順調にいけば6月の解禁日には体長10センチ、最盛期の8月以降は20センチになる。漁協によると内水面漁業管理委員会指示による増殖(稚魚放流)義務に従い、毎年この時期に放流している。

戸田組合長は「雨が降っていないため水不足と、新燃岳の灰がたまっている影響で餌となるコケが育つか心配。川下のアユが水不足でさかのぼることができず、鳥に食へられるなど影響も出ている」と心配そくに話した。